

極秘

常德殲滅作戰ニ於ケル  
師團ノ作戰指導及戰鬥實行上ノ教訓

昭和十九年一月三十日  
第三十九師團



1458

其ノ一 師團ノ作戰指導上ノ教訓

一 平素ニ於ケル兵要地誌調査ハ更ニ綿密ナラシムルヲ要ス

「説明」 今次作戰ニ於テ松滋河以東ノ兵要地誌調査ハ十分ナラズシテ  
江南鐵道作戰時ニ於ケルモノヲ基礎トシテ判斷セラレタリ

而シテ九月ニ於ケル降雨ハ相當ノ氾濫地帯ヲ形成セシガ如キモノ之ガ偵諜十  
分ナラズシテ作戰ニ從事セリ 新場、潘家場、沙道觀、米積台ヲ通スル  
河川ハ調査ニ依ル河中五〇米深サ四乃至五米トアリシニ拘ラス實際ハ河中

二〇〇米ヲ越ヘ流速ニ乃至三米アリテ馱馬橋ヲ架設ニ困難ヲ感ゼリ

又上揚家壩ノ新口間、松滋河ハ揚子江ノ流速ヨリ考察シ大ナル流速ナ  
キモノト判斷シアリシガ豫期ニ反シ流速急ニシテ舟艇ノ遡上ニ支障ヲ來セリ

尚突進大隊ニシテ圖上ニナキ中員千數百米ノ沼澤地ニ衝突シ之ガ突破  
ニ時間ヲ要シ任務變更ノ已ムナキニ到リタルコトアリ

ニ使用地圖ノ不正確ハ作戰指導及戰鬥實行上ニ影響百スル所  
大ナリ

「説明」總テ不正確ナル地圖ヲ基礎トシテ計畫ヲ立案セザルベカラザルヲ  
以テ大綱ノ決定ハ大ナル錯誤ナキモ細部ノ決定ニ於テハ常ニ若干ノ錯誤  
アリ故ニ計畫等ニ其ノ實施ニ支障ナキ如ク餘祐ヲ存セシムルヲ要ス  
特ニ某部隊ヲ限定セル時期迄ニ所望ノ地點ニ進出セシメントスル場合ニ於  
テ使用地圖ノ不正確ノ爲所要時間ノ判斷困難ニシテ指導上支障ヲ來  
スコト多シ

三、作戰地ノ地形ハ天候ノ交感ヲ受クルコト大ナルヲ以テ作戰指導  
又戰鬪實行上注意ヲ要ス

「説明」晴天ニシテ道路乾固シアル場合ニ於テハ別ニ意トスルノ要ナキモ  
一度降雨アリタル場合ニ於テハ道路泥濘化シ行進ヲ著シク澁滞セシム  
ルモノアリ又森林尠キ爲各河川ハ降雨後急激ニ増水シテ軍隊ノ行動  
ヲ阻止シ之が突破ヲ困難ナラシメラレタリ

四、支那軍ニ對シテハ其ノ狀況ヲ究明スルコトナク自主積極的ニ作  
戰企圖ヲ遂行シテ大ナル過誤ナシ

「説明」敵情ノ收集困難ニシテ且敵情判明後行動セトスル時ハ眷シク  
時機ヲ失スルノ虞アリ而シテ敵ハ企圖必少ク相互ノ協同連繫不十分ナル

ミニナラズ戦機ヲ捕捉シ之ニ乘ズル等ノ行動極メテ緩慢ナルモノアルヲ以テ  
自主積極的ニ作戰企圖ヲ遂行シ隨時隨所ニ所在ノ敵ヲ攻撃シツシ  
何等危懼スベキコトナシ

今次作戰ニ於テハ作戰開始前ニ於ケル敵配備ヲ基礎トシ作戰ヲ完  
遂セリ

五、晝間機動ヲ制限セラルル場合ニ於テハ薄暮黎明ヲ最大限ニ  
利用スルヲ可トシ尚闇夜ニ於ケル機動力ハ飛躍的ニ向上セム  
ルヲ要ス

「説明」 闇夜ニ於ケル行軍ハ些細ノ障碍ニ思ハガレ時間ヲ費消シ晝  
間ニ於テハ容易ニ迂回路ヲ發見シ得ルモ闇夜ニ於テハ多大ノ努力ヲ

要シ且足元見ヘガルト連絡ヲ失ガル爲ノ努力トハ疲勞ヲ大ナラシ  
ムルモノアリ又馬匹部隊ハ地障ノ爲行進益帶スルコト屢々ニシテ今次  
作戰間ニ於ケル實績ヨリ考察スルニ闇夜ニ於ケル機動能力ハ晝  
間ニ分ノ一乃至三分ノ一ナリ

而シテ作戰開始當初ニ於テハ晝夜連續行動シタルニ概テ第四目  
以降ハ其ノ行動著シク鈍重トナリ訓練ノ要切ナルモノアリ

之ガ不利ヲ補フ爲足元見エル薄暮黎明ハ實ニ貴重ナル數刻ナ  
リ最大限ニ利用スルヲ可トス

六各部隊ノ積極的ニ連絡ヲ保持セントスル熱ト努力トハ  
上級指揮官ヲシテ狀況ニ適應シ機敏ナル作戰指導ヲ

ヲモ可能ナラシム

説明 本件ハ軍隊指揮ノ根幹ニシテ原則的ニ極メテ明白ナル  
事項ナルモ實行ニハ部隊ノ大小ヲ問ハズ最モ欽陷多キ事項ニシテ  
師團ハ作戰初期ノ執拗ナル指導ニ依リ漸次良好トナレリ  
師團ガ肖家岩附近ノ戦闘ニ於テ各部隊ヲ無線連絡ノミ依リ  
指導シ所望ノ如ク殲滅態勢ヲ構成シ得タルガ如キ古賀支隊  
方面ニ派遣セル安藤部隊ヲ無線ニ依リ適時適切ニ指導シ概  
ネ狀況ニ應ズル如ク指導シ得又望江山附近ノ戦闘ニ於テ指揮  
系統ヲ異ニセル三部隊ガ協同動作ヲ以テ完全包圍態勢ヲ構  
成シ得タルガ如キハ連絡ノ適切ニ依リ相互軍隊ノ實情ヲ正確ニ把握

1464

シ得タル結果ニ外ナラス

七、支那軍ニ對スル殲滅戰ハ徹底的重點形成ニ依ル區分撃滅(又ハ各個撃滅)ニ徹スルヲ要シ又其ノ實施可能ナリ

説明 支那軍ニ對シテモ殲滅戰場局所ニ於ケル兵力優越ハ完勝ニ要件ナリ常ニ兵數優勢ナル支那軍ニ對シテハ勢ト區分撃滅力各個撃滅ニ依ラザルベカラス而シテ支那軍ハ企圖心少ク相互ノ連繫協同不十分ナルヲ以テ放膽ニ區分撃滅(又ハ各個撃滅)ヲ敢行スルモ危険ナシ

今次作戰ニ於テ師團ハ枝江、茶元寺以西ノ作戰ニ力リ敵主力ト覺シキ肖家岩附近ノ敵ヲ第一ノ殲滅目標トシ宜都方面、王家畷方面



ニ介意スルコトナク師團全兵力ヲ集中使用シ兩翼退路遮斷部隊ヲシテ側敵行動ヲ敢行セシメ克ク殲滅態勢ヲ構成シ得タリ此間宜都方面及王家岷附近ニ在リタル敵ハ何等行動セガリシニミナラズ丁家大山附近ニ在リシ敵ノ如キモ袖手傍觀セルノミナリ

又安井部隊ノ橋頭附近ニ於ケル殲滅戰ニ於テ同大隊ハ桂花樹屋廠附近ニ蠢動セル相當有力ナル敵ノ存在ニ對シ介意スルコトナク該敵ニ側敵行シ橋頭附近ノ敵ノ殲滅ニ徹底シ克ク其ノ企圖ヲ完遂セリ尚王家岷附近及兩河口附近ノ戰鬥ニ於テ敵ヲ逸シタル使用兵力ノ少カリシモ一因ト認ム

ハ無線ノミニ依リ機微ナル狀況ニ應ズル戰鬥指導ヲ爲サントスル

場合於テハ軍隊ノ實情ヲ正確ニ把握シ某程度戦況ノ  
推移ヲ豫測シ指導スルニアラガレバ時機ヲ失スルコト多シ

説明 現ニ入手セル情報ニ基キ戦機ノ機微ヲ捕捉シ戦闘推  
導ヲ爲セントスル場合ニ於テハ某程度戦況ノ推移ヲ豫測シ指  
導スルヲ必要トス蓋シ無線連絡ナルトキハ電文ノ暗號化、無  
線ノ交信時刻等ニ依リ電報ハ必ズシモ速達セラレズ傳達ニ數  
時間甚ダシキハ十數時間ヲ要スルコトアレバナリ故ニ是等ノ條  
件ヲ考慮シ處置スルコト肝要ナリ

九、有線通信網ノ架設ハ指揮連絡ノ爲極メテ有利ナリ

説明 今次作戰ニ於テハ軍、師團間ハ有線ニ依リ連絡シ有

利ニ使用セラレタリ師團モ亦駐留間第一線トノ連絡ハ既設線ヲ利用シ有線ヲ使用セリ抑々無線連絡ハ交信時刻ニ制限セラレ空界ノ状況ニ依リテハ必ズシモ必通ヲ期セラレガル爲傳達ニハ相當ノ時間ヲ要スルコトアリ故ニ状況之ヲ許セバ速カニ有線通信網ヲ架設スルノ著意ヲ肝要トス

### 其ノ二 戦闘實行上ノ教訓

本作戦間師團ノ統一セル戦闘實行ノ機會ナク以下各部隊個々ノ戦闘ニ教訓ヲ求メタリ

一 水上機動ハ果敢ニ奇襲的ニ實施セバ成功ス

説明 今次作戦ニ於テ師團ハ陳家台附近揚子江渡河點

ヨリ新江口附近松滋河渡河點へノ舟艇ノ運搬ニ苦慮シ遂ニ揚子  
江及松滋河ヲ溯江回航スルコトトセリ而シテ宛市ヨリ上流ハ敵地ヲ突  
破セガルベカラザル狀況ナリシヲ以テ歩兵約一大隊ヲ附シ恰モ水上機動  
部隊ノ如ク行動セシメタリ

該部隊ハ百里洲東端新關附近及新口ニ於テ奇襲上陸ニ成功シ  
當面ノ敵ヲ潰走セシメタルノミナラス新口新江口間ハ所々敵火ニ依リ  
妨害ヲ受ケタルモ果敢ニ之ヲ排除シテ新江口ニ到着セリ

ニ徹底セル攻撃力ノ發揮ハ殲滅戰遂行上最モ肝要ナリ

說明 一度接觸セル敵ニ對シテハ執拗ニ喰ヒ下リ攻撃ニ引續キ果敢  
ナル追撃ヲ斷行スルコト肝要ナリ

本件モ原則的ニ明白ナル事項ナルニ拘ラズ實蹟擧ラズ本作戦間  
戦機ヲ捉ヘツモ右ノ努力力足ラザル為敵ヲ逸シ戦闘ノ結未模糊  
ル例尠カラズ

之ニ及シ殘置部隊ノ一部ハ當陽東南方地區ニ潜入セシ敵ニ對シ正  
ニ逸セントセシニ晝夕食ノニ食ヲ喫スルコトナク執拗ニ喰ヒ下リ果敢ニ攻  
撃ヲ續行シ徹底的ニ之ヲ撃滅シ大ナル戦果ヲ收メ得タリ

三、使用兵力ニ應ジ殲滅スベキ目標ヲ限定スル區分撃滅ノ方法  
手段ヲ研究スルヲ要ス

説明 今次作戦ニ於ケル各部隊ノ戦闘指導ヲ觀察スルニ使用  
兵力ニ關係ナク當面ノ敵全兵力即チ使用兵力ニ比シ大ナル敵ヲ

捕捉セントシ或ハ使用兵力ニ比シ廣大ナル正面ニ於テ敵ヲ捕捉セントシ  
及ツテ之ヲ逸シアリ

四、攻撃火力ノ誤用多ク火力ノ使用ト突撃トノ關係適切ヲ欲  
ギ敵ヲ逸スルコト多クシ

「説明」 攻撃ニ方リ先ヅ砲兵等ヲシテ射撃セシメタル後步兵が攻  
撃前進ニ移ルモノ多キモ對文戦闘法トシテ適當ナラス

對文戦闘ニ於テハ多クハ攻撃準備射撃(一般ニ行ハルル射撃)ハ攻  
撃準備射撃ニモアラス)ノ必要ヲ認めザルノミナラス及ツテ砲撃ニ  
依リ敵ヲ逸スル場合多クシ部隊ハ宜シク地形ヲ利用シ射撃ヲ行フ  
コトナク專ラ潛進敵ニ近迫シ突撃スルノ軌法ニ慣熟スルヲ要ス

其ノ三 其ノ他ノ教訓

一 行動開始等ノ命令ニ於テ其ノ時機ヲ明確ニシ誤解ヲ  
ラシムルヲ要ス

「說明」 今次作戰ニ於ケル命令中ニ行動開始ノ時機明確ナラスシ  
テ誤解セシムルノ虞アリシモノアリ

例ヘバ「二十四日夜〇〇ニ轉進シトアルハ二十四日夜現在地ヲ出發シ〇〇ニ  
轉進スベキモノナルヤ二十四日夜ニ既ニ〇〇ニ轉進ヲ完了シアルモノナリ

ヤ明確ナラス

ニ協力飛行隊ノ地上部隊戦闘指導ニ注意ヲ要スルモノアリ

「說明」 十月五日夕赤溪河方面ノ敵情ニ鑑ミ軍ハ師團ニ對シ古賀

支隊ヲ迅速ニ該方面ニ進出セシムベク指導ヲセラレタリ然ルニ協力飛行  
隊ハ之ヲ誤リテ師團主力ヲ該方面ニ前進セシムル如ク師團司令部  
ノミナラス第一線部隊ニ對シテモ通信筒ニ依リ連絡シ正ニ重大事態ヲ  
惹起セシトセシモ事無キヲ得タリ

六 戦前ニ於ケル會同研究相互ノ作戰思想ヲ統一シ有益  
ナリ

說明 命令文ハ屢ミ誤解セラルコトアルモ事前ニ於ケル會同研  
究ハ之等ノ誤解ヲ一掃セシムルノミナラス簡單ナル文章ニ依リ意  
圖ヲ徹底セシムコトアルヲ以テ作戰前ニ狀況之ヲ許セバ會同  
研究ヲ行フヲ有利トス



勿論先入主トナラザルノ注意ハ肝要ナリ

1474